

ワークシート ここまでのハウツーをふり返って、気づいたことをメモしましょう

まち並みハウツー つながると、いいね! 編



ひとりでできることから、もう一歩進んでみましょう。いろいろな人やイベント、まちとつながれば、素敵なまちづくりが広がります。

コツコツの積み重ねが 地域やまわりを動かす

行徳・妙典地区

1 プランターを並べてみる ところからスタート

花と緑いっぱい運動 **P.12**
通り沿いに花のプランター
10個を並べたことがきっかけに。



2 親子で楽しめるまち歩き イベントを開催



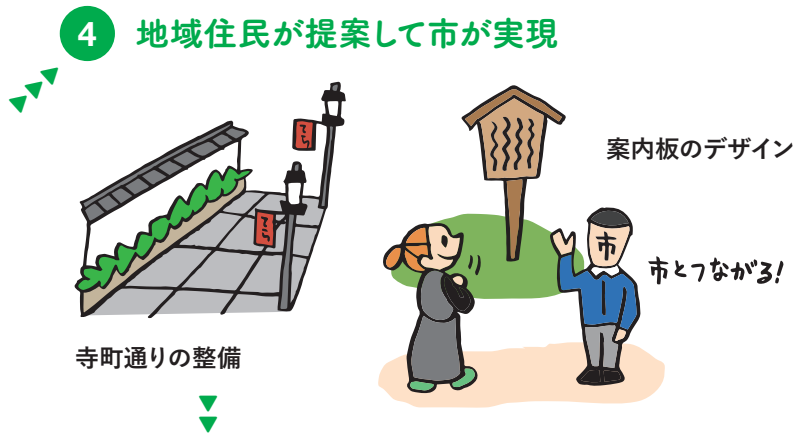
P.9
親子まち探検
お寺を拠点に、親子で
地域の歴史や文化を
知るイベントを開催。

3 地域をPR! タウンマップの制作

まち歩きタウンマップ
地元新聞の協力のもと、まちの
資源を巡るルートマップを作成。



4 地域住民が提案して市が実現



5 地域資源を活用する イベントの開催



寺のまち回遊展の自主開催
地域の寺社や旧家を巡るまち歩き。
出店やイベントのお楽しみも。

6 みんながつながる イベントを開催



「行灯」工作教室&ライトアップ
小学生が手づくりした行灯で
お寺の境内を照らす、夏の風物詩。

歴史を未来につなげるために

トピックで見る行徳・妙典地区

古くからのまち並みと新しくつくられたまち並みが隣り合うまち。

未来を担う子どもたちとワークショップ

未来を担う子どもたちに、地域への愛着を持ってもらう
取り組みをたくさん行っている。

親子まち探検

親子で参加して地域の歴史や特徴を学ぶ、発見型ワークショップを開催。



新しく地域に移ってきた住民や子どもたちに、まちの歴史を伝えられるいい機会になっています。



「行灯」工作教室 & ライトアップ

工作教室は、子どもとその親が地域に触れるきっかけに。近隣から見に来る人も。



自分でつくと楽しい。
お母さんにも見てほしい！



寺のまちらしさを守り、つなげる

地域のあちこちに歴史ある景観資源が存在しているのが、この地域の特徴。
寺町の良さを知り、寺町らしさを守るため、地域がつながる活動をしている。

寺町を住民で考える “てらまち会”発足

住民主体でまちづくりを考える団体を結成。
市との連携や自主企画などを担う。

始めたからには、
責任を持って最後まで
関わり続けたい。



寺町周辺の整備

住民のこうだったらいいな、
というアイデアが実現。



案内板



常夜灯



寺町通り

寺町らしい
風景を守ろう。

電柱がなくなって
すっきり！



寺のまち回遊展

古くから多くある寺社や旧家を
巡りながら地域の歴史を学ぶ催し
も楽しめる。



出し物やお店もあるから
親子で楽しめます。

古い建物巡り
も楽しい。



気持ちをひとつに、法華経寺参道の趣きを甦らせる

中山地区



1 まちのお悩み

寺町の活気がないことに住民が思い悩む日々。



2 理想のイメージを探る P.25

住民が理想のまちの姿を思い描く。



3 身近ないいね!を増やす

駅から中山法華経寺まで長く続く参道は、中山地区の玄関。寺町らしさを失いつつあった参道を元気にさせるために、まずはたどり着きたい地域のイメージを想像して、みんなで共有。商店、住民、お寺、市が協力して、共有したまちの理想像へ近づけるアイデアを出し合い、実現に向けて取り組んでいます。

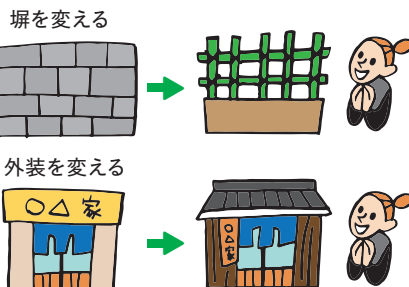
4 イメージを共有して協力し合う P.23



5 話し合っって具体案を実現

ハードの整備は市と協力して、ソフトのイベントは自主事業として展開。理想のイメージへ近づけていく。

ハード | 通りや外装の整備・塀を変える P.17-22



ソフト | イベントやお祭りの開催
お寺や各店先に
おひなさまを飾る



6 この共有の輪をもっと広げるには……?

ソフトとハードの合わせ技

トピックで見る中山地区

ソフト | にぎわいイベントの開催

中山法華経寺がまつる子育ての神様鬼子母神にあやかり、子どもたちの健やかな成長を願うイベントとして、お寺と参道沿いの各商店や集会所におひなさまを展示。住民や学生のボランティアも参加する。

中山のおひなまつり

毎年2月～3月、参道全体でおひなまつりを開催。



参道は地域の顔。折り紙でつくるおひなさまをいらした方へおもてなしするのが中山流。オリジナルグッズを販売して、開催費用に充てています。

町会



2軒から始めましたが、今では参道全体に一体感が出て、一緒にイベントを行うなかで人と話す機会も増えました。

商店会



住民、商店、お寺が協力して繰り返しイベントをやったおかげで、「このまちは寺町なんだ」というイメージも定着したんじゃないかな。

中山法華経寺



ほかに、骨董市、参道の花植えを開催

ハード | 参道のビフォーアフター

平成20年より、寺町らしい風景をイメージして、街路灯・舗装のデザインや参道沿いの商店・住宅の外装を変える“修景”を少しずつ進めている。

参道沿いの建物の外観を変える



ビフォー

目立つ色の軒先を落ち着いた色に。

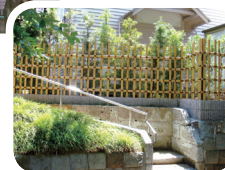
アフター



ビフォー

金属のフェンスを竹垣に。

アフター



格子をつけて風情あるたたずまいに。



普通の住宅でも寺町らしさは出せる！



街路灯の色・道路舗装の変更と無電柱化

街路灯の色を変更。アスファルトを石畳風にし、無電柱化も実現。



ビフォー



アフター

街路灯の色を決める話し合いをしたときに、みんながひとつになれた気がする。



電柱がなくなって空が広がったね。



住民ひとりのアイデアが、地域に広がって実現

真間の行灯ライトアップ

1 住民ひとりのアイデアが発端

参道をライトアップして元気にしたい!



真間山弘法寺の参道入口にあるお肉屋さんで、参道を元気にしたい!と立ち上がったところからスタート。

地域の輪がどんとつながって話が進んだね。



2 仲間が仲間を呼んで実行委員会を結成

みんながやれば、きっとできる!



まずは商店街の仲間に相談。その話が知り合いに広がり、「いいね!」が集まる。

3 地域のお寺や学校とも連携して、企画が実現へ

商店街の仲間や住民だけでなく、地域の輪はお寺や学校へ。

地元のお寺・真間山弘法寺の石段に行灯を置いて照らす「真間行灯ライトアップ」。発案者は参道の入口、大門通りで商店を営む住民のひとり。地域の人々への声掛けから輪が広がり、商店街だけでなく、お寺や地元の大学、小学校まで巻き込んだイベントへと発展しました。実現するための費用集めにも住民のアイデアが光ります。

4 実現するための費用はクラウドファンディングで

実現するには資金が必要。そこで、インターネットで募金を集めるクラウドファンディングを立ち上げる。

はじめてやるしドキドキ。集まるかな〜



きれいだね〜

5 ライトアップ開催

資金も集まり、いよいよ開催。地元住民はもちろん、近隣からも多くの人が訪れて大成功。

P.24

市が行うイベントを自分たちの チャンスに変える

北国分駅前イルミネーション



1 地域に新しい 動きが訪れる

市が駅前にイルミネーションをつけるなど、地域に訪れる動きをまめにキャッチすることが大切。

2 市の企画に乗って、 地元がオリジナル 企画を考案

まちの新たな展開に、何ができるか考えてみる。



3 地域を巻き込んで 企画を準備

住民それぞれが得意なことを発揮して、企画を練り上げる。

4 企画の実現・イベントの開催

P.24

住民のネットワークを駆使して、イベントを実現。



5 続けるためには どうするか考える

1回限りではもったいない。地域への愛着を糧に次の展開を考えてみましょう。



「美しいまち並み協定」とは、家の前や通り沿いを花や木で彩り、きれいなまち並みをつくり出すための協定です。協定と言っても、ご近所の3軒から始められる手軽なもの。申請すると市から花苗やシンボルツリーが提供されるといううれしい支援です。お隣さんと一緒にさっそく始めてみませんか。

仲間を集めて、制度を使って パワーアップ！

美しいまち並み協定

1 きれいなまち並みに気づく P.8

近所を歩くとき、まわりのおうちの庭先や花・木を意識してみる。

これはなに？



協定の看板が立てられていることも。

これは「美しいまち並み協定」といって市の支援を受けている印なんですよ。

2 制度を知る

これは？と思ってしまう小さなものにも、まち並みに関するいろいろな制度が。お得な情報もあるので調べてみましょう。

3 やりたい気持ちを持つ

私もやりたい！

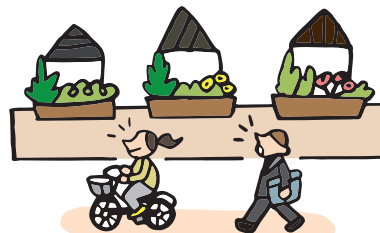
3軒以上だから両隣さんに相談してみるか〜

「やりたい！」に人を巻き込むのも大事なこと。輪を広げて理想のまちに近づけていく。

4 仲間を集める

こんにちは！お花をみんなご植えてみない？

5 実現！ P.17



6 仲間を増やしていく P.16

小さな輪がつくれたら、どんどん続けて広げていきましょう。

〇Xさんもさそおう！
みんな苗を買いにいかない？
今度はベコニア植えたいわ！

つなげて、買って。どちらもまちづくり。

景観協定 ※詳しくは、市役所でもらえる「景観協定の手引き」をご覧ください。

地域の建築や植栽、駐車場などのルールを、一体的に決めて守っていく景観協定。住民同士が自主的に進める「既存協定」と、企業が開発するときに「一人協定」としてつくった分譲地を買う2通りがあります。デザインが練られたまち並みは、維持するためのコミュニケーションを生み、それが地域の安心・安全や土地の資産価値の向上にもつながります。

今住んでいるところを 素敵なまち並みに

スタート
◀◀

既存協定



ここももっと
素敵になれば
いいのにな〜



素敵な場所に住むには、
どうしたらいいでしょう？

素敵な まち並みの中で 暮らしたい！



どんなまちに
住みたいかな...

素敵なまち並みの ところに家を買おう！

スタート
▶▶

一人協定

素敵なまち並みを
つくろう！



ハウスメーカー
などが、素敵な
まち並みを
デザイン。

住んでいるまち並みをもっと良くしたい。
理想のまち並みをイメージする。



いっしょに
やろう！

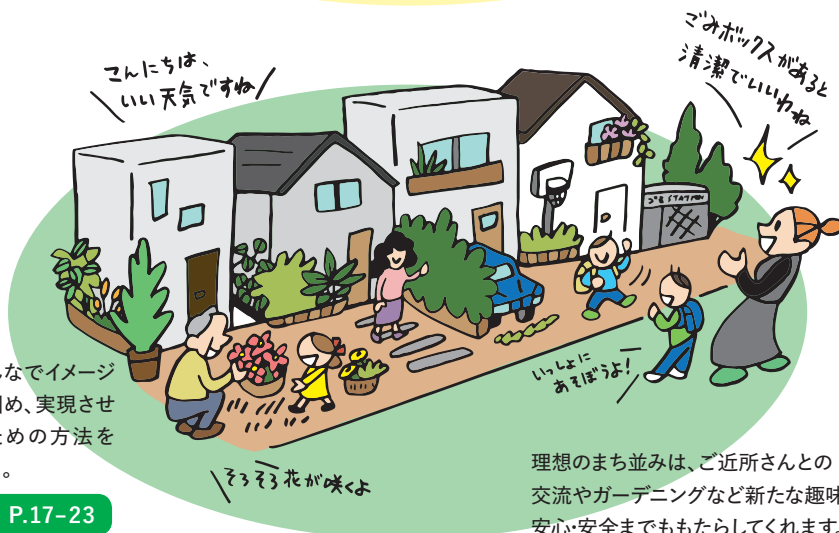
イメージを、
お隣さんや
ご近所さんに
伝える。

みんなで
場をそろえてみる？



みんなでイメージ
を固め、実現させ
るための方法を
練る。

📖 P.17-23



こんにちは、
いい天気ですね！

ゴミホウキが入ると
清潔でいいね

いっしょに
あそぼうよ！

そろそろ花が咲くよ

理想のまち並みは、ご近所さんとの
交流やガーデニングなど新たな趣味、
安心・安全までももたらしてくれます。

新しく家を買う、
そんなときに
素敵なまち並みの
分譲地を探して
みる。



ここよさそう！



はじめまして！

いよいよお引越。ここからは私たち
住民のまち並みづくりのスタート！

“育てる”がまちをつくる ここに住む住民の場合
 景観協定のあるまちに住み続けるためには、維持管理が必要。
 子どもも家族も植物もまちも一緒に育つまちづくり。

塀をなくして遊び場広々。一緒に子育ても。



お友達をすぐ見つけて、一緒に遊ぶよ。



道と庭、お向かいやお隣の庭まで一体となつて、子どもにうれしい遊び場が生まれる。

玄関から出ると道やまわりの家々がすぐ目に入るので、自然とあいさつできますね。



ガーデニング



植栽や生垣を維持するにはガーデニングが必至。

手間もかかるけど、庭いじりがお隣との会話のきっかけになるし、季節の変わり目を感じさせてくれる。



いつでも清潔
ゴミ管理



ゴミもしっかり管理できるので、カラスも来ないし見た目もきれいなのがいいところ。気持ちよく使っています。

ふた付きのゴミストッカーがあれば、清潔・安心。



コミュニケーションが
自然と生まれるまち

トピックで見る景観協定

素敵なまちをつくる 分譲住宅を計画する企業の場合

分譲地を計画する企業は、景観に関わる部分について市と話し合い、プランをブラッシュアップ、実際のデザインに反映していく。

灯りのあるまち



日が暮れると街灯や家の玄関に灯りがつき、帰りたくなる家の雰囲気を演出します。



夕暮れにはまち全体に灯りがつき、美しい家並みが浮かび上がる風景をイメージして設計。

ガーデニングワークショップ



植栽のお手入れ指南や一緒に種まきなど、住民の交流を育てるワークショップを開催。

もともと計画している植栽は、住民の方に育ててもらいたい。そのためのハウツーを学んでもらいつつ、交流が生まれる機会になればと思います。





あれも、これも、ぜんぶ まち並み景観づくり

一つひとつの取り組みが、
市川のまち並みをつくっています。

もう一度
自分のまちを
見てみよう。

ひとりからできる！
まち並み景観づくりハンドブック

発行日
平成 29 年 3 月

編集
市川市 街づくり部 まち並み景観整備課

アート・ディレクション & デザイン
加藤賢策 (LABORATORIES)

イラスト
大橋慶子

編集補助
柴原聡子

発行
市川市 

TEL: 047-334-1111 (代表)

URL: <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>



この本を読んだら、
もう一度近所を散歩したり、
サイクリングしてみましよう。
読む前と後、見えてくる風景は
どう変わりましたか？